

上級（主任・リーダークラス）研修



社会福祉法人

恩賜

財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO・DOHOKU・ENGOKAI

上級職員としての役割とマネジメント・リーダーシップとは

東京都同胞援護会は、乳幼児から高齢者まで幅広い利用者のニーズに応える、令和7年で設立73年目を迎える社会福祉法人。児童、母子、高齢者、障害者、生活困窮者など支援を必要とする方々の福祉実現に向け29施設29事業を展開している。

それぞれの施設・事業は、「利用者本位」の視点に立ち、利用者の「生活の質」の向上のため、多様なニーズに応える創意工夫のある福祉サービスを組織的に提供している。

受講メンバーの皆様の振り返り（一部抜粋）



研修前後で「理事長からの期待」の動画を閲覧しました。受講後視野が広がってからの方が一言ひとことが大変響きました！



メンバーのスキル開発について、難しい部分もありましたが、具体的な手法やスキルを学ぶことができました。現場で活用していきます！



リーダーとしての在り方を考え直す良い機会になりました。自分の立場に求められていることに対し意識的に取り組んでいきます！

背景

元々階層別・目的別研修を集合型で体系的に実施をしていたが、2019年から発生した新型コロナウイルスの影響で、学習の機会の提供が難しくなった。ただし、上級に位置づく職員の方々は職場でも中核的な存在であり、次期幹部候補としても重点的な育成が必要な状況であった。そのため、効率的・効果的な育成をしていくことを目的として、2020年に学習の再設計を実施し、従来の方法を刷新した。

導入

学習管理システム（LMS：Learning Management System）を活用し、研修の事前・事後課題としてeラーニングで知識学習をしていただき、職場にて実践。また、オンライン研修では上級職員としての役割や職場の問題解決について議論をしていただく場を作ることで、インプットとアウトプットの機会をバランスよく提供。2021年度～2023年度にかけて毎年実施し、2024年度にはフォロー研修も実施。

効果

研修受講後、現場で成果を挙げ、昇進・昇格につながっている。また、全体的に見ても、コロナ渦において、上級職員としての役割を発揮するための学習や、同じ課題を抱える職員との議論や相互アドバイスによる職場での実践力の向上につながっている。

■全体スケジュールと内容

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
学習管理 システム (LMS)	理事長動画閲覧	★	必要に応じて再視聴									
	eラーニング学習	eラーニング①					eラーニング②					
	理解度テスト	コースごとに随時実施						コースごとに随時実施				
研修 (オンライン or 集合)	・反転学習と職場実践の 振り返りと共有 ・実践に向けた補足学習	★				★					★	

研修①（5月）
（オンラインor集合）

- 講義
 - ・本研修の目的
 - ・社会福祉法人がおかれている環境
 - ・上級職員に求められる役割
- 演習・講義
 - ・アツのリーダーシップとは
 - ・リーダーシップ診断
- 講義
 - ・マネジメントとは
- 演習
 - ・振り返り
 - ・行動計画の作成

【反転学習】
eラーニング①

- 学習のポイント<必修>
 - 「ビジョンとリーダーシップ」
- <任意>
 - 「複雑な環境におけるリーダーシップ」
 - 「真のチームとは」

研修②（9月）
（オンラインor集合）

- 演習
 - ・前回設定した課題の実践状況の振り返り・共有
- 講義
 - ・活性化した職場とは
 - ・心理的安全性とは
- 講義・演習
 - ・ポジティブ心理学
 - ・仕事に取り組む上での価値観診断
- 演習
 - ・行動計画の修正

【反転学習】
eラーニング②

- コース名<必修>
 - 「人材育成・能力開発」
- <任意>
 - 「職場でチームのウェルビーイングを高める」

研修③（2月）
（オンラインor集合）

- 演習
 - ・前回設定した課題の実践状況の振り返り・共有
- 講義
 - ・人材育成とは
 - ・効果的なOJT
 - ・ディッキングとコーチング
- 演習
 - ・コミュニケーション
 - ・ロールプレイング
- 演習
 - ・年間を通しての振り返り

次年度の取組みへ

※上記の研修の実施方法は、年度によりオンラインと集合形式を使い分けて実施しています。